

2017/2/22

地震安全基本原則案に対する WG2 における主要な審議状況

「4. 原子力施設と活動の正当性の説明（性能最適化の考え方）」

「図 深層防護を含めた個々の設備機器の性能の最適化のための構成要素」の見直し版の議論（配布資料④）を行った。主要な審議結果は以下のとおり。

- ・ 横軸及び縦軸の厳密な定義が必要。
- ・ 深層防護レベルごとの、設備単体のフラジリティ曲線と複数の設備を組み合わせたシステム全体のフラジリティ曲線との離隔に関する説明及び見直しが必要。
- ・ 深層防護レベルごとの、「事故の発生防止」と「事故の影響緩和」の観点からの整理が必要。
- ・ 深層防護レベル 5 の概念図が必要。
- ・ 使用性に関しては、議論をシンプルにさせるべく今回は取り込まず、別途検討とする。

「5. 事故の発生防止と影響緩和【設計の目的】（耐震設計の目的）」

電中研大鳥氏の資料（配布資料⑥）に基づき、耐震設計・評価フローに関する議論を行った。主要な審議結果は以下のとおり。

- ・ 本節においては、設備単体の耐震設計と複数の設備を組み合わせたシステム全体の耐震設計（評価）に係る原則の追記が必要である。
- ・ 併せて、上記を説明するためのフロー図を用意する。

以上